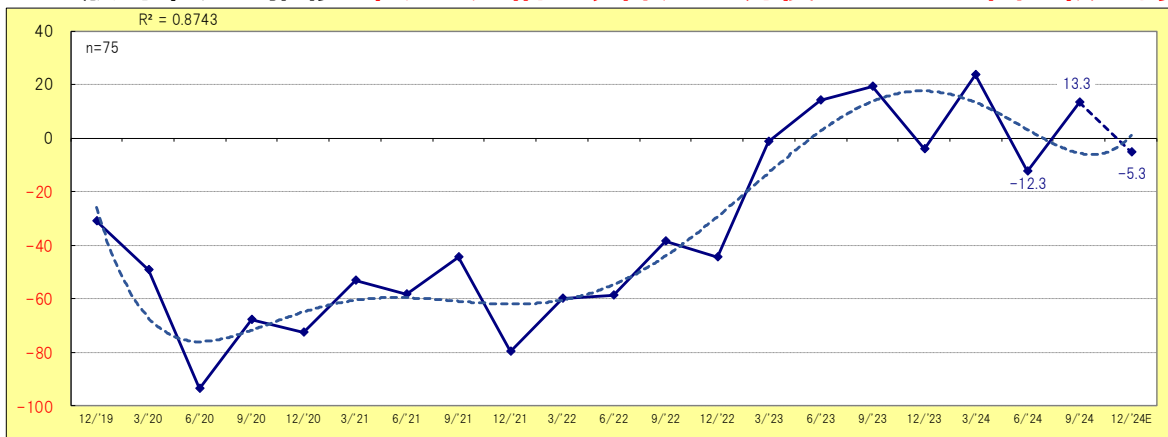


第 98 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

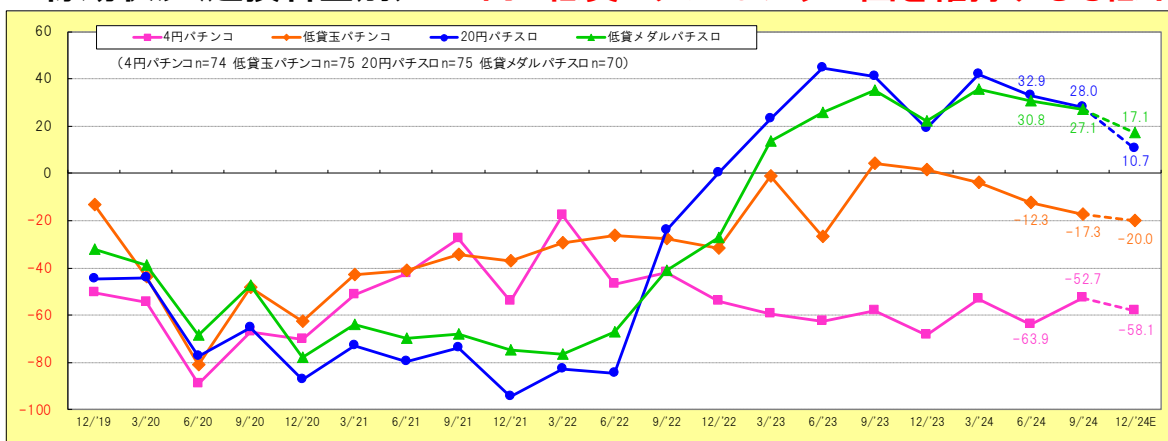
2024 年 10 月

要点

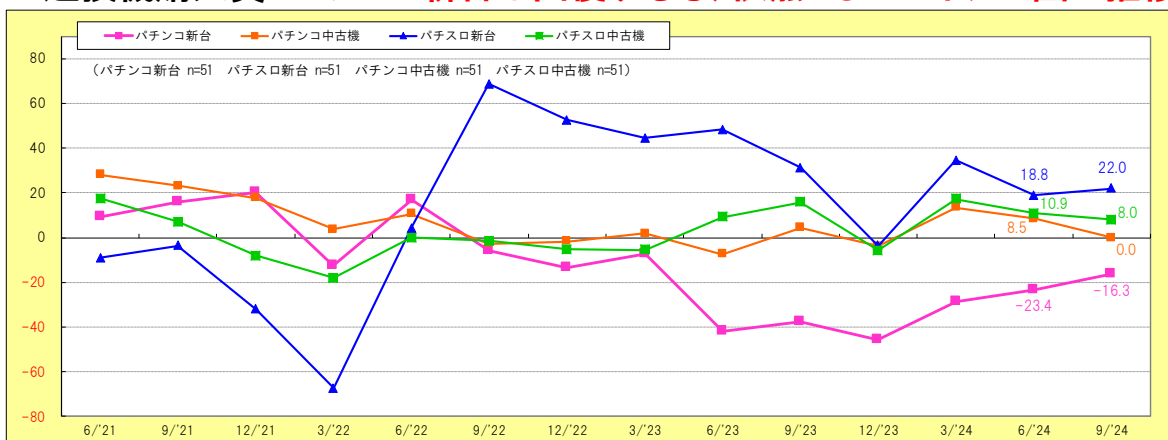
■ 全般的業況の推移: 業況は大幅に改善、3 カ月後はマイナス圏に転じる見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 20 円と低貸メダルはプラス圏を維持するも低下傾向



■ 遊技機購入費: パチンコ新台は回復するも、依然としてマイナス圏で推移



◇ 回答状況

51 企業、75 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■業況は大幅に改善、パチンコ・パチスロともに3カ月後に落ち込む見通し

「全般的業況」は13.3ポイント(前回比25.6良化)、3カ月後は▲5.3ポイントまで悪化する見通しである。






















「稼動状況」はパチンコが▲42.7ポイント(前回比18.9良化)、3カ月後は▲48.0ポイントまで悪化する見通しである。パチスロは32.0ポイント(前回比1.9良化)、3カ月後は12.0ポイントまで悪化する見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は▲2.0ポイント(前回比±0)、3カ月後は7.8ポイントまで回復する見通しである。






「資本投資気運(その他設備)」は13.7ポイント(前回比23.6悪化)、3カ月後は13.7ポイントと現状維持の見通しである。

「充足感(雇用人員)」は▲45.3ポイント(前回比11.1悪化)、3カ月後は▲44.0ポイントとなる見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気(下段:DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -12.3	 13.3	 -5.3	現状は薄曇りに良化 見通しは曇りに悪化
2. 稼動状況 (パチンコ)	 -61.6	 -42.7	 -48.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	 30.1	 32.0	 12.0	現状は引き続き晴れ 見通しは薄曇りに悪化
4. 資本投資気運 (遊技機)	 -2.0	 -2.0	 7.8	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
5. 資本投資気運 (その他設備)	 37.3	 13.7	 13.7	現状は薄曇りに悪化 見通しも引き続き薄曇り
6. 充足感 (営業用設備)	 1.4	 1.3	 4.0	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
7. 充足感 (雇用人員)	 -34.2	 -45.3	 -44.0	現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

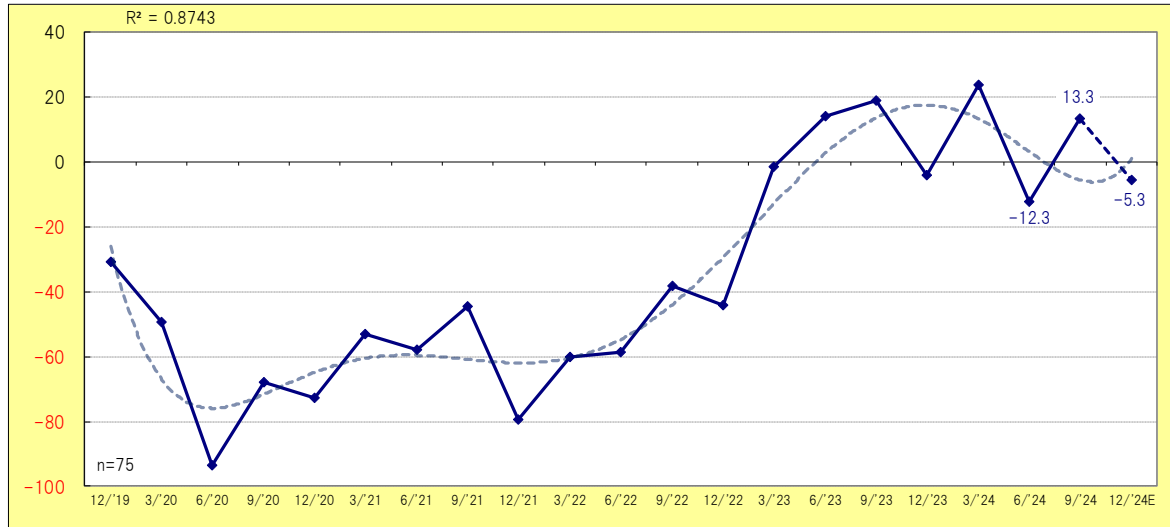
凡例:天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2024年12月期(12/'24E)の数値は見通し

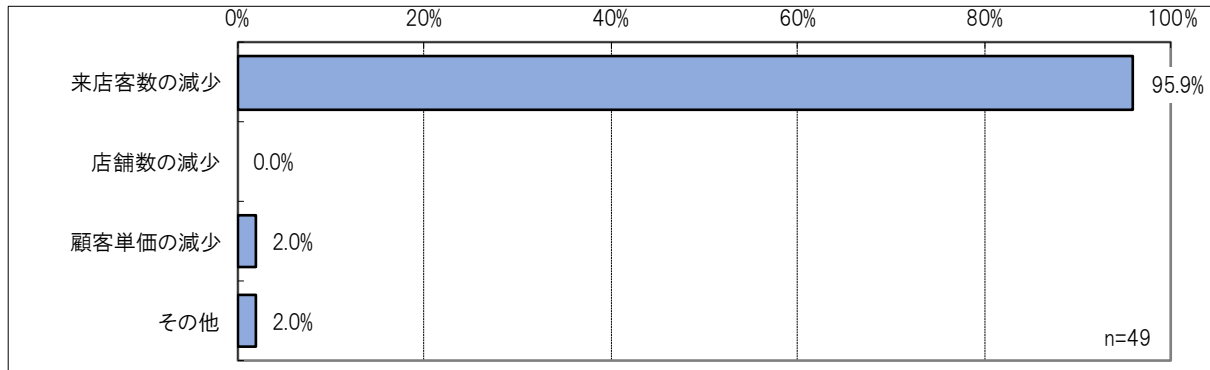
■業況は大幅に改善するも、3カ月後はマイナス圏に転じる見通し



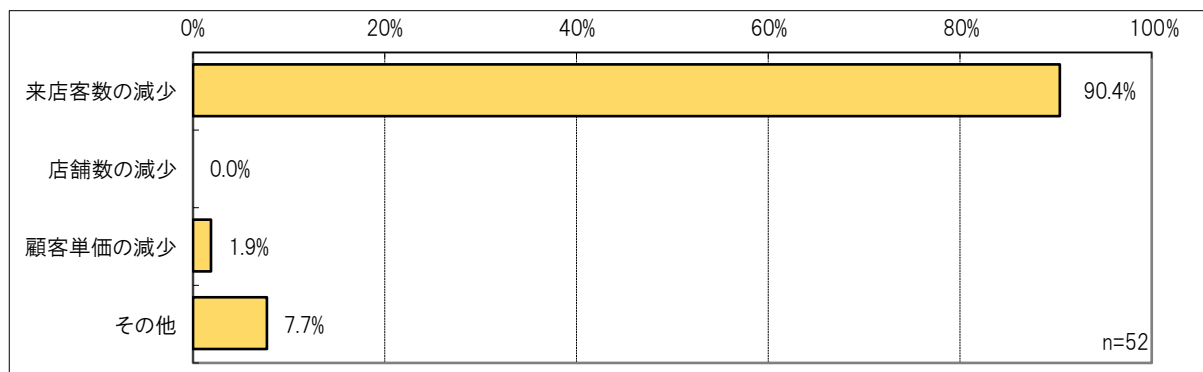
過去 1 カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」はプラスに転じ、13.3 ポイント(前回比 25.6 良化)まで大幅に回復した。3 カ月後は▲5.3 ポイントとマイナスに転じる見通しである。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況で9割以上、先行きで8割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



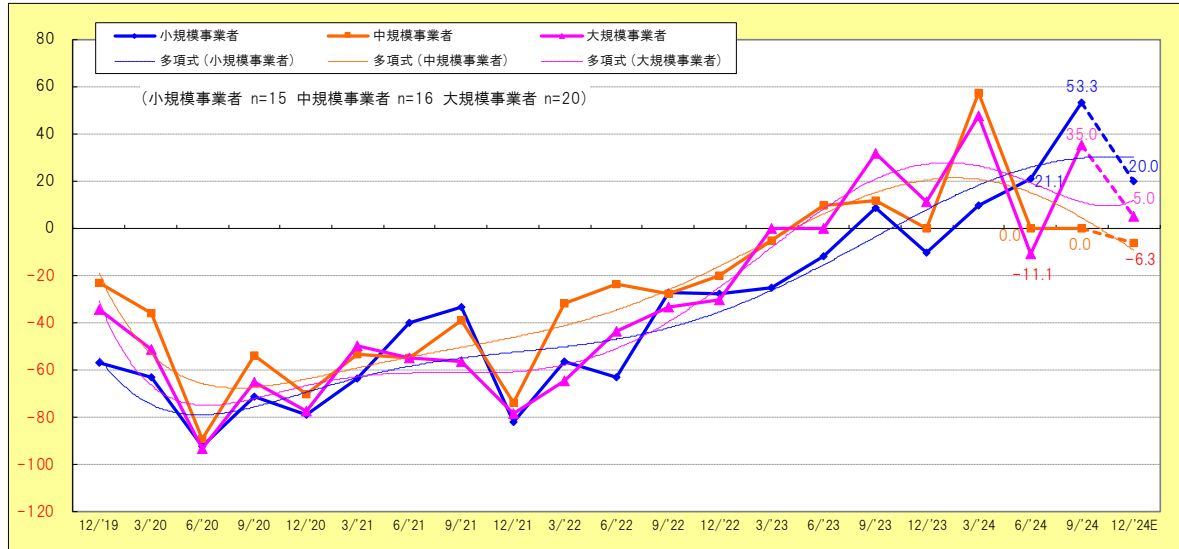
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2024年12月期(12/'24E)の数値は見通し

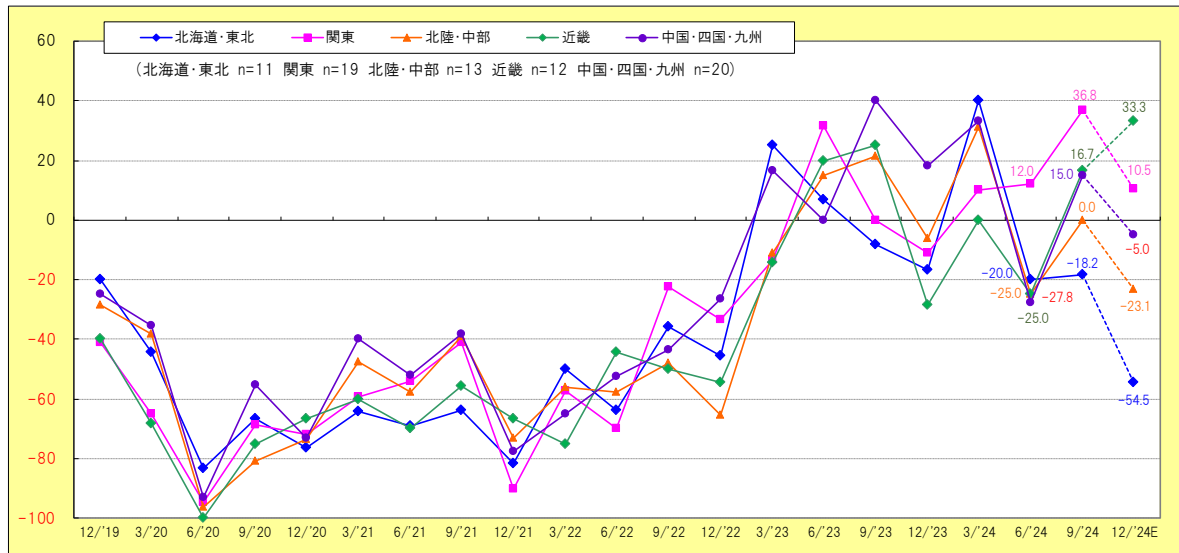
■全般的業況(規模別):小規模と大規模は回復、3カ月後は全事業者で悪化見通し



事業規模別の「全般的業況」は、小規模事業者(1~3店舗)が53.3ポイント(前回比32.2良化)、中規模事業者(4~10店舗)が±0ポイント(前回比±0)、大規模事業者(11店舗以上)が35.0ポイント(前回比46.1良化)となった。

3カ月後は全事業者で落ち込む見通しである。

■全般的業況(地域別):北海道・東北以外は大幅に回復、3カ月後は近畿のみ回復



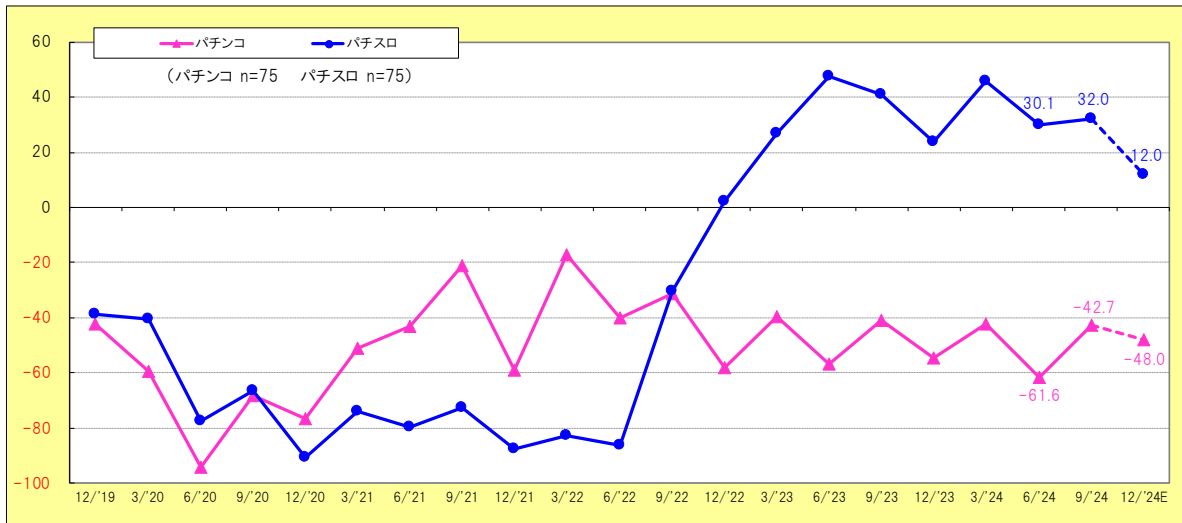
地域別での業況は北海道・東北以外の地域で大幅に回復した。地域順では、関東で36.8ポイント(前回比24.8良化)、近畿で16.7ポイント(前回比41.7良化)、中国・四国・九州で15.0ポイント(前回比42.8良化)、北陸・中部で±0ポイント(前回比25.0良化)、北海道・東北で▲18.2ポイント(前回比1.8良化)となった。

3カ月後の業況は近畿のみ回復の見通しとなるが、それ以外は大幅に落ち込む見通しである。

稼動状況(事業者全体)

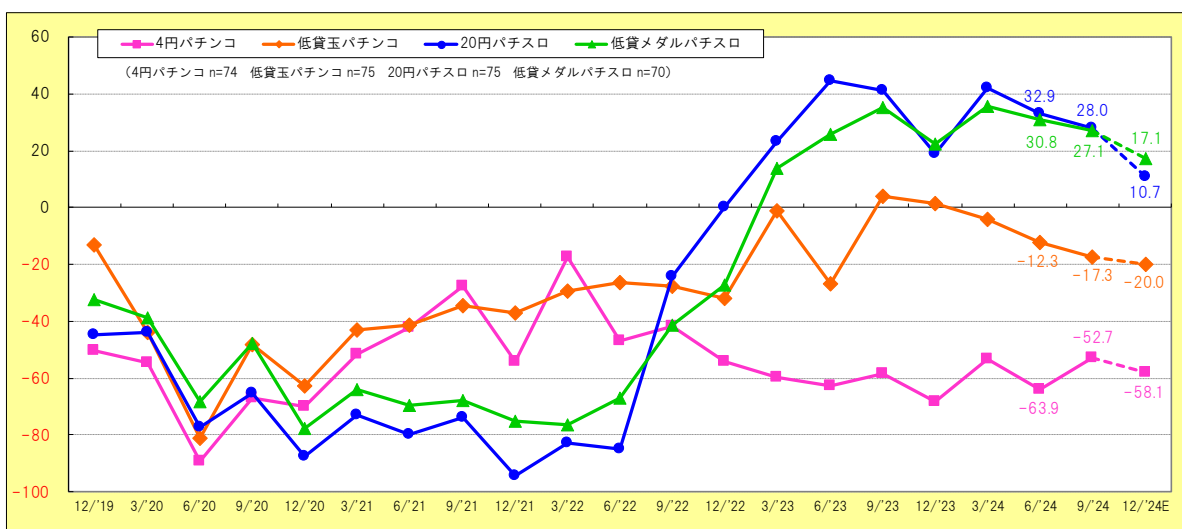
注: 2024年12月期(12/'24E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロはプラス圏で推移、パチンコは低迷



稼動状況について、パチンコは▲42.7ポイント(前回比 18.9 良化)、3カ月後は▲48.0ポイントまで落ち込む見通しである。パチスロは 32.0ポイント(前回比 1.9 良化)、3カ月後は 12.0ポイントまで落ち込む見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):20円と低貸メダルはプラス圏を維持するも低下傾向



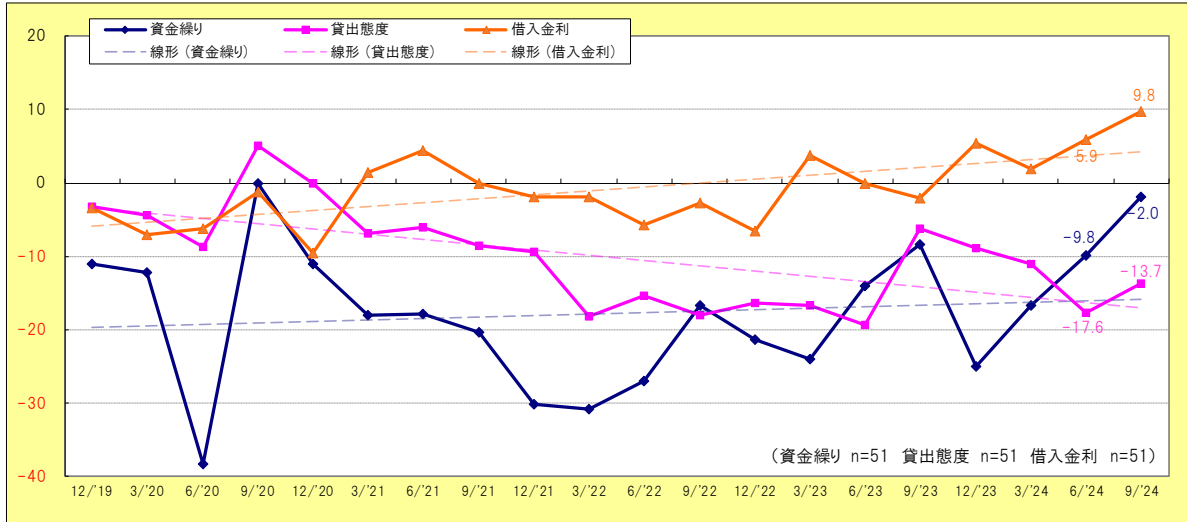
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲52.7ポイント(前回比 11.2 良化)、3カ月後は▲58.1ポイントまで落ち込む見通しである。20円パチスロは 28.0ポイント(前回比 4.9 悪化)、3カ月後は 10.7ポイントまで落ち込む見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲17.3ポイント(前回比 5.0 悪化)、3カ月後は▲20.0ポイントとなる見通しである。低貸メダルパチスロは 27.1ポイント(前回比 3.7 悪化)、3カ月後も 17.1ポイントまで落ち込む見通しである。

経営の現状(事業者全体)

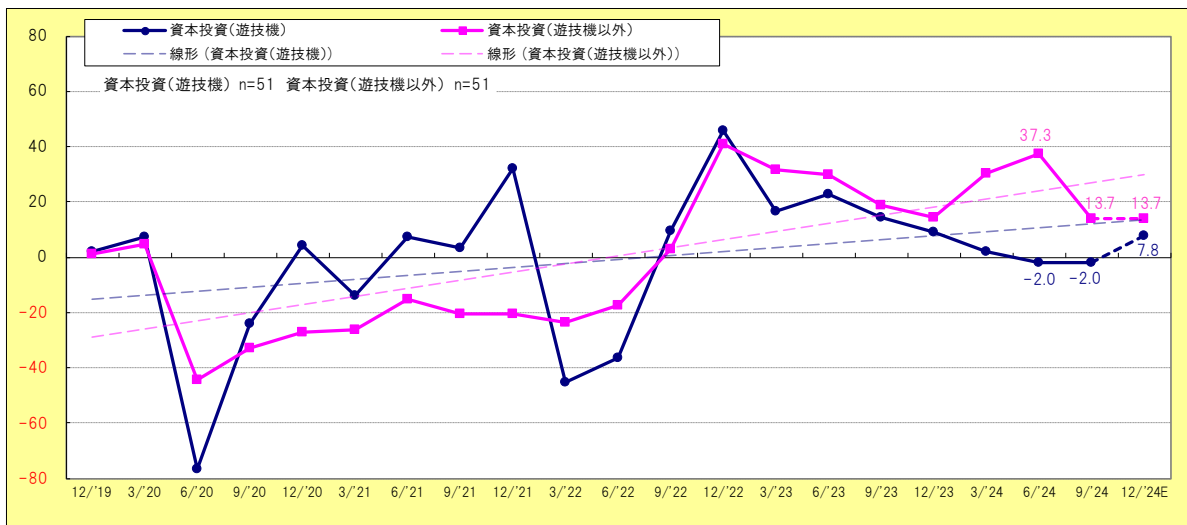
注:2024年12月期(12/24E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りと貸出態度、借入金利のいずれも回復



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲2.0ポイント(前回比7.8良化)、「貸出態度」▲13.7ポイント(前回比3.9良化)、「借入金利」9.8ポイント(前回比3.9良化)となった。

■資本投資気運:遊技機以外の投資は悪化、遊技機は3カ月後に回復の見通し



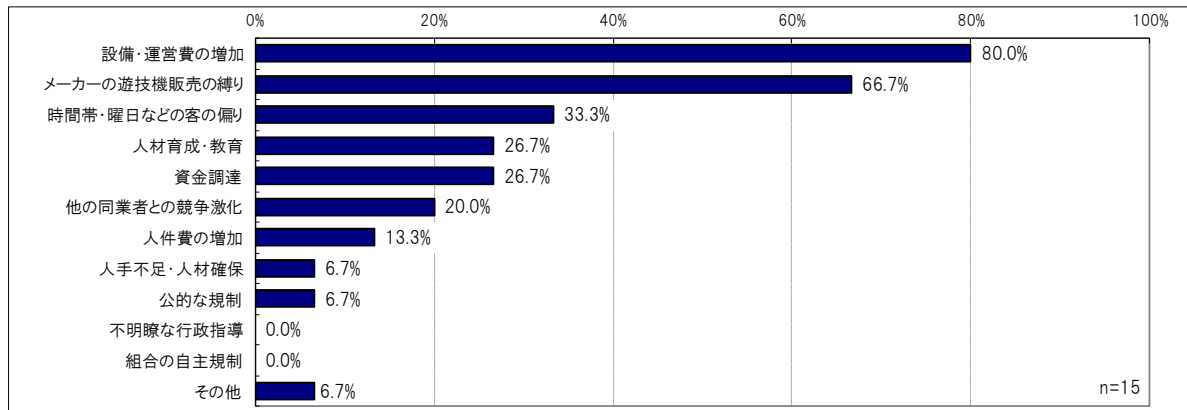
今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲2.0ポイント(前回比±0)、3カ月後は7.8ポイントまで回復する見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は13.7ポイント(前回比23.6悪化)、3カ月後は13.7ポイントと現状維持の見通しである。

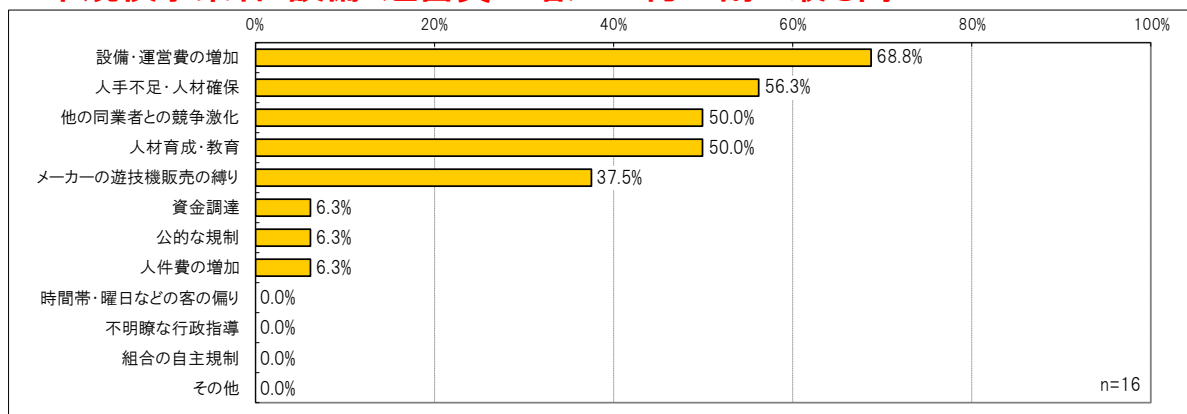
経営上の課題(事業者規模別)

注: 複数回答

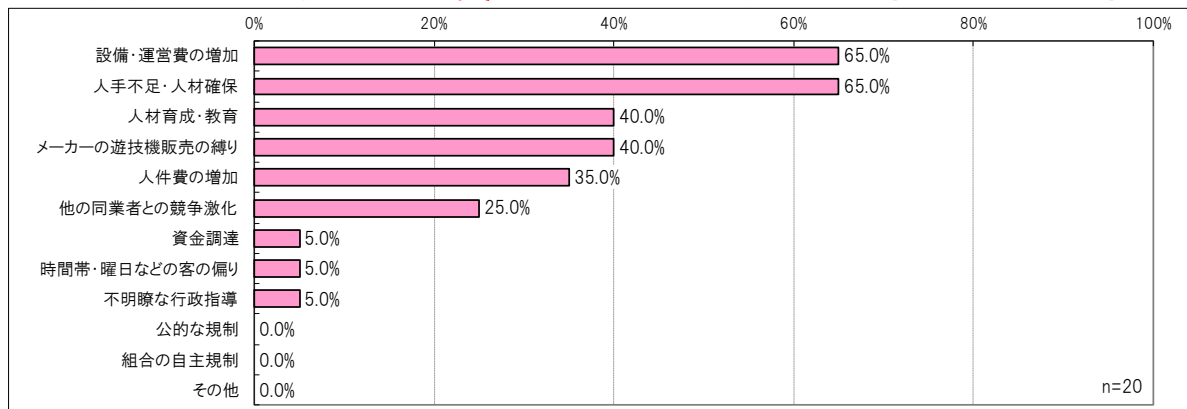
■小規模事業者:設備・運営費の増加が8割で最も高い



■中規模事業者:設備・運営費の増加が約7割で最も高い



■大規模事業者:設備・運営費の増加と人手不足・人材確保が同率で最も高い



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「設備・運営費の増加」が8割で最も高かった。2 番目「遊技機販売の縛り」が高かった。

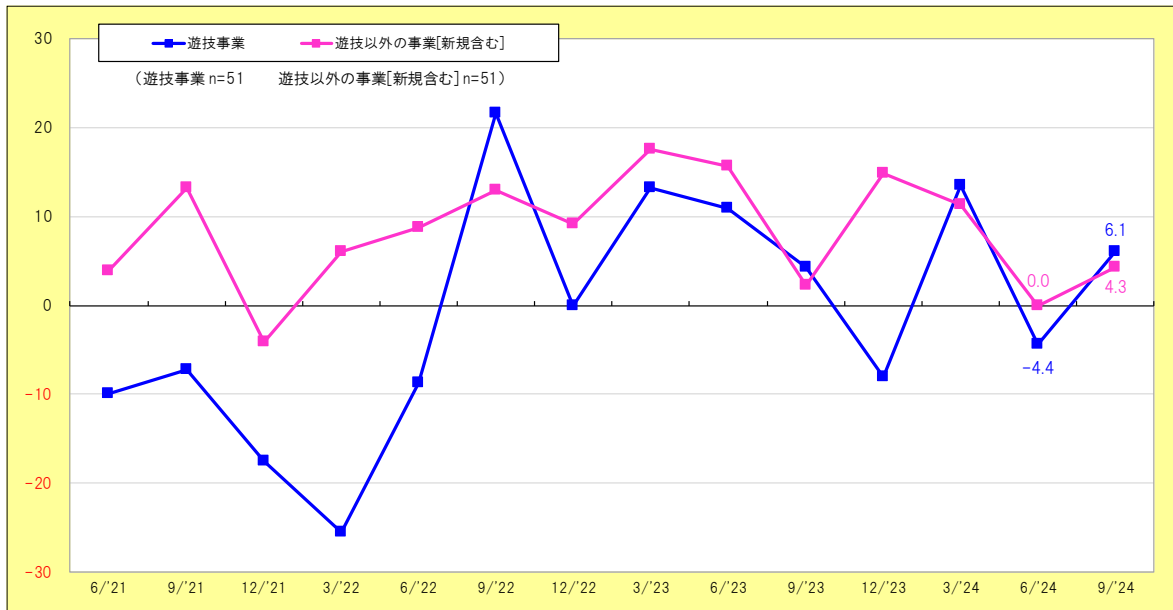
中規模事業者(4~10 店舗)は「設備・運営費の増加」が約7割で最も高かった。2 番目に「人手不足・人材確保」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「設備・運営費の増加」と「人手不足・人材確保」が同率で最も高く、6割台半ばとなった。

すべての事業者規模で「設備・運営費の増加」が上位となっているが、改刷やスマパチ・スマスロに関する設備投資の影響が続いているものと考えられる。

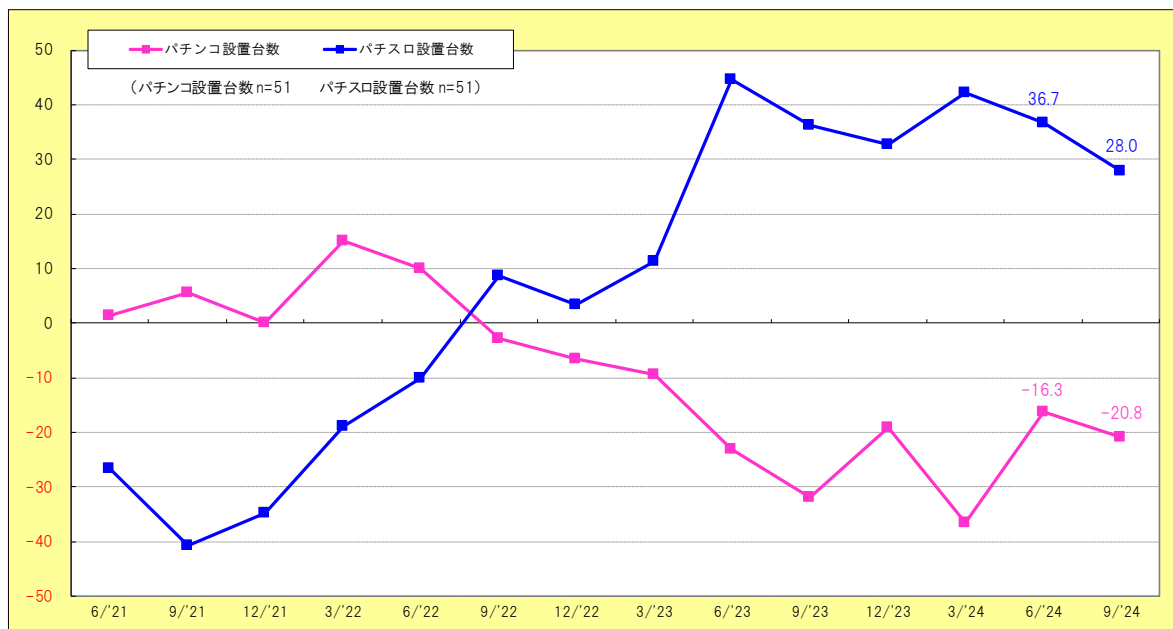
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業・遊技以外の事業ともに回復



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は 6.1 ポイント(前回比 10.5 良化)とプラスに転じた。「遊技以外の事業」は 4.3 ポイント(前回比 4.3 良化)となった。

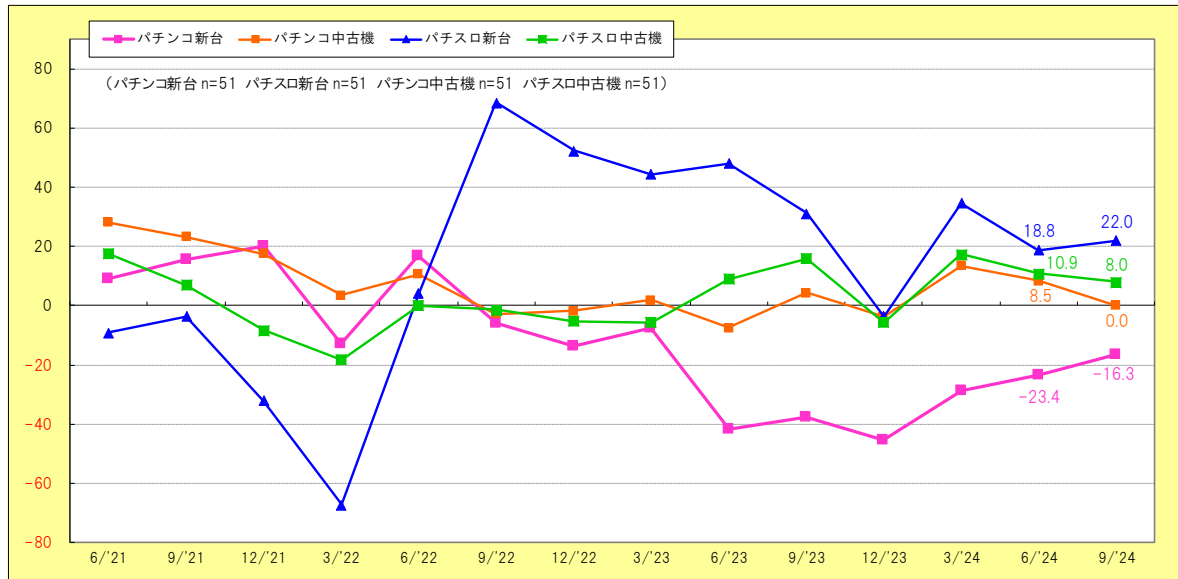
■設置台数:パチンコはやや悪化、パチスロはプラス圏も低下傾向



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲20.8 ポイント(前回比 4.5 悪化)まで落ち込んだ。一方、「パチスロ設置台数」は 28.0 ポイント(前回比 8.7 悪化)まで落ち込み、低下傾向にある。

今後3カ月間の営業施策(事業者全体)②

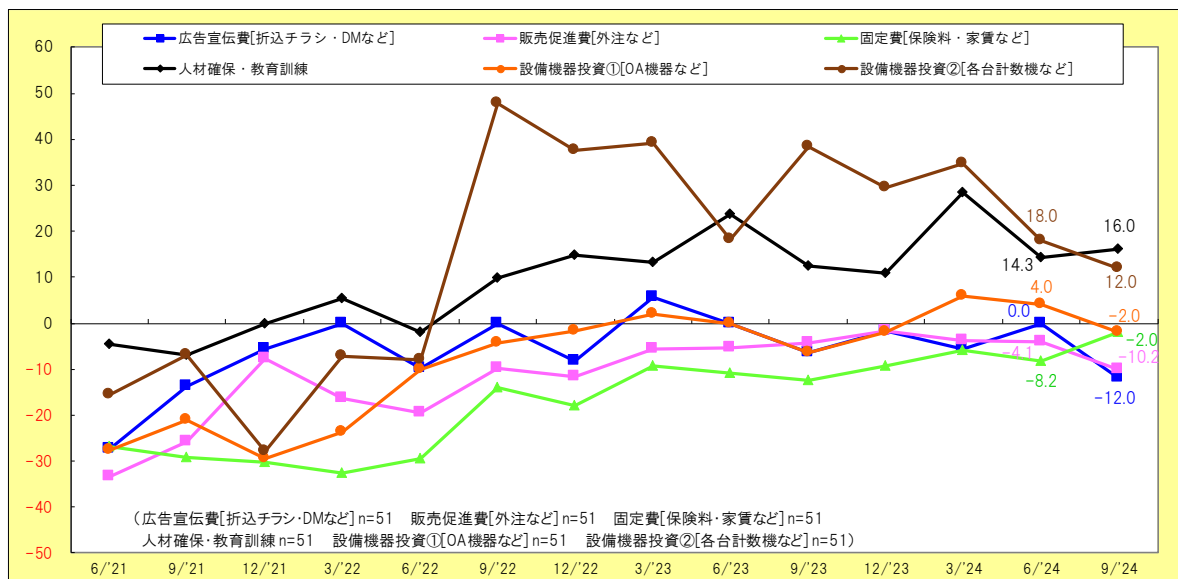
■遊技機購入費:パチンコ新台は回復傾向だが、依然としてマイナス圏で推移



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲16.3ポイント(前回比7.1 良化)、「パチスロ新台」は22.0ポイント(前回比3.2 良化)となった。

「パチンコ中古機」は±0ポイント(前回比8.5 悪化)、「パチスロ中古機」は8.0ポイント(前回比2.9 悪化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資②」「人材確保・教育訓練」で悪化が目立つ



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は▲12.0ポイント(前回比12.0 悪化)、「販売促進費」は▲10.2ポイント(前回比6.1 悪化)、「固定費」は▲2.0ポイント(前回比6.2 良化)、「人材確保・教育訓練」は16.0ポイント(前回比1.7 良化)、「設備機器投資①」は▲2.0ポイント(前回比6.0 悪化)、「設備機器投資②」は12.0ポイント(前回比6.0 悪化)となった。

コメント(自由回答)抜粋

■現状と今後について

- ◆設備老朽化の改善と人材育成に対して、中長期で計画を立てている。設備に関しては、スマパチのユニット対応(供給)は現在の供給事情を考慮しても、問題なく進められると考えている。一方、人材に関しては、社員の意識や行動変化の鈍化(社員、アルバイトの平均年齢の上昇による気付きの遅れ、危機感の薄れ)が課題となっている。(関東・小規模事業者)
- ◆弊社は新紙幣改刷対応がひと段落したが、今後はスマパチに設備投資せざるを得ない状況となっている。そのなかで、遊技機にも投資する必要があるが、常にお金がかかる状況でパチンコ店はどんどん疲弊してきている。資本力のある企業だけが生き残り、そうでない企業は撤退していく図式が更に加速していく。(中国・大規模事業者)
- ◆遊技機の価格が高騰傾向にあるのが、懸念点となっている。(九州・中規模事業者)
- ◆メーカーの抱き合わせ販売が経営を圧迫している。(中部・中規模事業者)
- ◆今後は季節要因による顧客の減少が懸念される。また、メーカーの抱き合わせ販売などによる遊技機購入費の増加に加え、スマパチ・スマスロなどの設備投資を続けていかなければならないのが辛い。(中部・小規模事業者)
- ◆スマスロ版ジャグラーの発売が待たれるが、北電子のジャグラーの生産体制の少なさは業界全体への影響が大きく、1企業の問題に収まっていないと感じる。(中国・大規模事業者)
- ◆パチンコ店が儲からなければ、遊技機メーカーも台が売れなくなり、設備導入もなくなってくる。業界全体で儲かる仕組みを考えなければ、先がない。知恵と実行力のあるリーダーが必要だと感じる。(関東・小規模事業者)
- ◆スマパチとラッキートリガーの需要が上がって欲しい。(関東・中規模事業者)
- ◆東京都の銀賞品の普及と法人ごとの貯玉再プレイ手数料の違いによって、お客様の流れや店選びに変化があると考えている。(関東・小規模事業者)
- ◆10月から11月にかけて前年以上に遊技人口が減少すると予測している。8月までの収益先行分でいかに稼働下落を抑制して年末年始商戦を迎えられるのかが、2025年へ向けてのポイントとなる。(東北・大規模事業者)
- ◆8月が終わり、稼働が落ち始める時期で厳しいと思う。盆前の新機種も期待を下回る結果だったのではないかと。"飽き"(秋)が来るのは早い。(中部・小規模事業者)
- ◆毎年稼働が下がる時期だが、年々動向が読めなくなっている。(関東・小規模事業者)
- ◆東北地方は人口の減少が著しく、経済そのものが疲弊している。(東北・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	21.1	53.3	20.0	0.0	0.0	-6.3	-11.1	35.0	5.0	-12.3	13.3	-5.3
稼動状況(パチンコ)	-42.1	-20.0	-26.7	-50.0	-25.0	-31.3	-72.2	-55.0	-65.0	-61.6	-42.7	-48.0
稼動状況(パチスロ)	47.4	60.0	46.7	28.6	37.5	37.5	38.9	30.0	5.0	30.1	32.0	12.0
資本投資気運(遊技機)	21.1	0.0	0.0	-21.4	-12.5	12.5	-11.1	5.0	10.0	-2.0	-2.0	7.8
資本投資気運(その他設備)	26.3	6.7	20.0	35.7	25.0	25.0	50.0	10.0	0.0	37.3	13.7	13.7
不足感(営業用設備)	-5.3	-6.7	-6.7	7.1	-6.3	6.3	-16.7	15.0	15.0	1.4	1.3	4.0
不足感(雇用人員)	-26.3	-26.7	-33.3	-42.9	-37.5	-37.5	-50.0	-70.0	-65.0	-34.2	-45.3	-44.0

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-20.0	-18.2	-54.5	12.0	36.8	10.5	-25.0	0.0	-23.1
稼動状況(パチンコ)	-60.0	-54.5	-72.7	-40.0	-31.6	-31.6	-83.3	-46.2	-53.8
稼動状況(パチスロ)	0.0	9.1	-18.2	48.0	52.6	31.6	33.3	23.1	7.7
不足感(営業用設備)	20.0	0.0	0.0	0.0	10.5	10.5	0.0	-7.7	0.0
不足感(雇用人員)	-60.0	-45.5	-45.5	-24.0	-42.1	-42.1	-41.7	-46.2	-38.5

項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-25.0	16.7	33.3	-27.8	15.0	-5.0	-12.3	13.3	-5.3
稼動状況(パチンコ)	-75.0	-16.7	-25.0	-72.2	-60.0	-60.0	-61.6	-42.7	-48.0
稼動状況(パチスロ)	12.5	16.7	8.3	27.8	40.0	15.0	30.1	32.0	12.0
不足感(営業用設備)	0.0	0.0	8.3	-5.6	0.0	0.0	1.4	1.3	4.0
不足感(雇用人員)	-37.5	-25.0	-33.3	-27.8	-60.0	-55.0	-34.2	-45.3	-44.0

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-23.8	-5.3	0.0	-7.1	-21.4	6.3	-15.8	-5.6	-10.0	-16.7	-9.8	-2.0
貸出態度	-14.3	-21.1	-26.7	-7.1	-21.4	0.0	-10.5	-11.1	-15.0	-11.1	-17.6	-13.7
借入金利	4.8	-5.3	26.7	0.0	14.3	31.3	0.0	11.1	30.0	1.9	5.9	9.8

* 全般的業況 n=75、稼動状況(パチンコ)n=75、稼動状況(パチスロ)n=75、資本投資気運(遊技機)n=51、資本投資気運(その他設備)n=51、

不足感(営業用設備)n=75、不足感(雇用人員)n=75、資金繰り n=51、貸出態度 n=51、借入金利 n=51

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、シーズリサーチが四半期毎に実施しているアンケート調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100 から-100 の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびに全国の有力パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2024年9月12日～9月30日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

51企業、75地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F

Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>